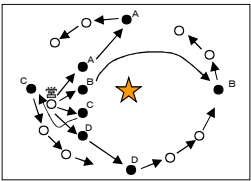


キャンドルサービスのプログラム（参考資料）

富山県呉羽青少年自然の家

	流れ	参加者の活動	司会者・営火者のことば
第一部	1. 全員入場	<ul style="list-style-type: none"> 生徒を2階ロビーに整列させる。 静かになったところで、心を落ち着けて会場に入場し、円陣をつくる。 	<p>(司) ただいまから〇〇のキャンドルサービスを行います。「遠き山に日はおちて」をみんなで歌いましょう。2番からはハミングをお願いします。</p>
	2. 「遠き山に日はおちて」	 <p>・ハミングの中で司会者の言葉を</p>	<p>(司) この世明るく照らしていた太陽が西の山に静かに沈んでいき、ここ呉羽青少年自然の家も夜のやみにつつまれました。友情と信頼のきずなを確かめ、力強く生きることを願って、ここに集まった〇〇の、キャンドルサービスが始まろうとしています。</p>
	3. 女神から営火長へ	<ul style="list-style-type: none"> 女神は片ひざをつき、営火長に点火する。 	
	4. 分火	 <p>分火者は、営火長の前に整列する。</p>	<p>(司) 営火長は、分火者に分火の言葉をお願いします。</p> <p>(営)</p> <ul style="list-style-type: none"> 君には友情の火をあげよう。 君には協同の火をあげよう。 君には規律の火をあげよう。 君には奉仕の火をあげよう。 <p>(司) 自分の位置に戻り、分火してもらった火を、右側の人にうつしてください。火を渡す人はろうそくを立てたまま、火をもらう人はろうそくを傾けてください。</p>
	5. 集火		<p>(司) 分火者の皆さん（グループの代表者など）は中央の燭台に集火してください。</p>
	6. 「もえろよもえろ」斉唱		<p>(司) 「もえろよもえろ」の歌を一緒に歌いましょう。</p>
	7. 営火長のあいさつ		<p>(司) 営火長より一言お願いします。</p> <p>(営) 美しく、そして雄大な緑の自然に囲まれた呉羽青少年自然の家での活動も明日で終わろうとしています。この後は、各グループの楽しいゲームや出し物があると聞いています。そこで私から皆さんにお願いがあります。話を静かに聞き、大いにゲームなどを楽しむ、成功しても失敗しても各グループの出し物に大きな拍手をおくる、この3つの約束を守ってください。この約束が守れたらきっと楽しいキャンドルサービスだったなと思えるはずです。さあ、今晩は楽しく過ごそうではありませんか。</p> <p>(司) 手に持っているキャンドルを中央に持って行きましょう。</p>
第二部	<p>第2部をボンファイヤー（親睦的な火）として、明るく楽しい雰囲気を高揚し、会員の親睦を深める。 (1) 歌 (2) ダンス (3) 寸劇・コント (4) ゲーム など、各クラスのレクリエーション係を中心に出し物を工夫する。</p>		
第三部			<p>(司) 楽しいキャンドルの集いも終わりに近づいてきました。分火者のみなさんは中央の燭台に火をともしてください。</p>
	1. 「ピリブ」	<ul style="list-style-type: none"> 団体に応じた歌を選曲する。 <例>「切手のないおくりもの」「ともだち讃歌」「あの青い空のように」「世界中のこどもたち 	<p>(司) 「ピリブ」を歌いながら、今日の楽しかった思い出を振り返ってみましょう。</p>
	2. 営火長 終わりの言葉		<p>(司) 営火長より終わりの言葉をお願いします。</p> <p>(営) 私たちはキャンドルを囲みながら、楽しい一時を過ごしてきました。この楽しさをみんなで分かち合い、よりよい仲間になれるよう、一層の努力を期待します。最後に、このキャンドルをあたたかく見守ってくれた自然に感謝しながら、キャンドルの集いを終わります。</p>
	3. 「一日の終わり」斉唱	<ul style="list-style-type: none"> 女神は営火長よりキャンドルをもらい退場 	<p>(司) それでは心をこめて「一日の終わり」を歌いましょう。</p>
4. 閉会のことば		<p>(司) これで〇〇のキャンドルサービスを終わります。静かに退場しましょう。</p>	